

4. 具体的な施策

海外プロモーション

国際会議等の誘致を強力に推進

MICE誘致アンバサダープログラム

具体的な国際会議の誘致案件がある者をMICE誘致アンバサダーに任命し、誘致活動を支援

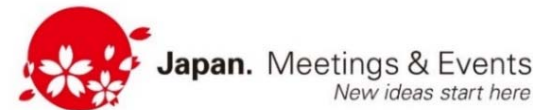


インセンティブ旅行の戦略的取組

中国、韓国、アメリカ、タイ、台湾、インドネシア、マレーシアを重点市場として設定し、集中的にプロモーションを実施

MICEブランドの普及

自治体等のステークホルダーと共有化、海外への発信(見本市・商談会への参加、セミナーの開催、広告宣伝事業)



グローバルMICE強化都市の選定・支援

裾野を拡大するため、札幌、仙台、千葉、広島、北九州をグローバルMICE強化都市に選定し支援を実施

ユニークベニューの取組の強化

- ・JNTOに一元的な問い合わせ窓口を設置
- ・日本学術会議との連携を強化
- ・国内のユニークベニューの普及強化



国内受入地の魅力向上

MICEの誘致・開催の促進

平成28年度概算決定概要(全体像)

「2030年には、アジアNo.1の国際会議開催国としての不動の地位を築く」(「日本再興戦略」改訂2015)との目標を達成するため、以下を実施

- ①グローバルレベルのMICE都市へと成長するポテンシャルを有する都市の育成
- ②地域のMICE誘致力の強化(ユニークベニューの開発・利用促進、コンベンション・ビューローの組織強化・高度化)
- ③MICE誘致・開催のためのプロモーションの強化

グローバルレベルのMICE都市の育成

中規模程度の国際会議の確実・継続的な誘致を実現できるグローバルレベルのMICE都市の育成を目的として、平成27年度にグローバルMICE強化都市を選定(札幌、仙台、千葉、広島、北九州)

グローバルMICE強化都市への重点的支援

グローバルMICE強化都市に対して

- ・市場/競合都市の調査分析
 - ・海外アドバイザー派遣
 - ・ステークホルダーの連携促進
- 等により継続的かつ重点的に支援を実施

地域のMICE誘致力の強化

地域のMICE誘致力の強化のため、以下の取組が必要

コンベンション・ビューローの組織強化・高度化

ユニークベニューの活用促進

MICE誘致競争力の強化策の展開

海外先進コンベンション・ビューローを調査し、国内コンベンション・ビューローの高度化の検討・促進を図る

ユニークベニューにおけるMICE開催の普及・啓発のための実証支援事業を実施

MICE誘致・開催のためのプロモーション強化

国際学会本部への働きかけ、大手インセンティブ旅行取扱会社へのセミナー・商談会、MICE誘致アンバサダープログラム、海外MICE専門見本市出展、MICE専門誌の招請・記事広告等、日本のMICE開催地としての認知度の向上、誘致案件の発掘を図る。

グローバルレベルのMICE都市の育成

平成25～26年度

- 我が国のMICE誘致競争を牽引する都市を育成するため、とくに大型国際会議の誘致ポテンシャルを有する都市に対してマーケティング戦略高度化のためのソフト面の集中的な支援を実施。
- グローバルMICE都市（東京、横浜、京都、神戸、福岡、大阪、名古屋）に対し支援。

一定の成果の現れ

問題意識

- 大型国際会議の誘致によるブランド力向上のみならず、中規模国際会議の确实・継続的な誘致を実現できる都市を育成することが必要。

平成27～28年度

- 一定水準以上の誘致能力を有する都市を新たに選定し、中規模程度の国際会議の受け皿の育成を図る。
- グローバルMICE強化都市 5都市（札幌市、仙台市、千葉県千葉市、広島市、北九州市）

